

第12回学術大会プログラム

招待講演

8月25日(土) 13:30~14:30 第1会場(躬行館 T31 講義室)
座長: 楠本 正明(京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター)
「ジェネリック医薬品 80%達成と BS 製剤の促進」
演者: 三浦 明(厚生労働省 医政局 経済課)

大会長講演

8月25日(土) 14:30~15:30 第1会場(躬行館 T31 講義室)
座長: 武藤 正樹(国際医療福祉大学大学院)
「バイオシミラー使用促進へむけて」
演者: 楠本 正明(京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター)

品質情報検討会

8月25日(土) 15:45~16:30 第1会場(躬行館 T31 講義室)
座長: 村田 正弘(NPO 法人セルフメディケーション推進協議会)
「ジェネリック医薬品品質情報検討会の活動内容について」
演者: 伊豆津 健一(国立医薬品食品衛生研究所 薬品部)

シンポジウム1: フォーマュラリーの普及に向けて

8月26日(日) 9:30~11:00 第1会場(躬行館 T31 講義室)
オーガナイザー: 増原 慶壮(株式会社日本医薬総合研究所病院コンサルタントグループ)
座長: 増原 慶壮(株式会社日本医薬総合研究所 病院コンサルタントグループ)
萱野 勇一郎(大阪府済生会 中津病院 薬剤部)

1. 「薬剤師に期待すること(フォーマュラリーの観点から)」
安川 孝志(厚生労働省医薬・生活衛生局 総務課薬局・販売制度企画室)
2. 「遠賀中間医師会おんが病院におけるフォーマュラリーの実践」
後藤 康秀(遠賀中間医師会 おんが病院 薬剤部)
3. 「地域フォーマュラリーの必要性と提案」
関 ころろ(株式会社日本医薬総合研究所 病院コンサルタントグループ)
4. 「当院におけるフォーマュラリーマネジメントについて」
上田 彩(聖マリアンナ医科大学病院 薬剤部)
5. 総合討論

シンポジウム2：バイオシミラーの現状と今後の課題

8月26日(日) 13:00~14:30 第1会場(躬行館 T31 講義室)

オーガナイザー：四方田 千佳子(神戸薬科大学)

座長： 四方田 千佳子(神戸薬科大学)

石井 明子(国立医薬品食品衛生研究所生物 薬品部)

1. 「バイオシミラーと私たちの社会との関わり」
黒川 達夫(バイオシミラー協議会)
2. 「バイオシミラーの開発と規制に関する国際的動向と今後の課題」
石井 明子(国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部)
3. 「バイオ後続品の規制と審査事例」
井手野 泰久(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 再生医療製品等審査部)
4. 総合討論

シンポジウム3：ジェネリック医薬品の推進、あと一押しには。～企業・現場のつぶやきから見えてくるものは～

8月26日(日) 14:40~16:10 第1会場(躬行館 T31 講義室)

オーガナイザー：上野 和行(新潟薬科大学 薬学部)

座長： 上野 和行(新潟薬科大学 薬学部)

土下 喜正(東舞鶴医誠会病院 薬剤科)

1. 「ジェネリック医薬品 付加価値剤の開発と課題」
小杉 敦(日医工株式会社 開発・企画本部)
2. 「ジェネリック医薬品の高付加価値剤の開発と課題」
入沢 庸介(東和薬品株式会社 製剤技術本部 製剤研究第一部)
3. 「MR から見たジェネリック医薬品の現状」
久松 栄一(大原薬品工業株式会社 営業本部)
4. 「高付加価値ジェネリック製剤開発に関して」
伊藤 雅賢(Meiji Seika ファルマ株式会社 CMC 研究所 ジェネリック製剤研究室)
5. 総合討論

シンポジウム 4：ジェネリック医薬品使用促進と地域差—京都の現状—

8月26日(日) 13:00~14:30 第2会場(躬行館 Q21 講義室)

オーガナイザー：楠本 正明(京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター)

座長：川勝 一雄(医療法人稲門会 岩倉病院 薬剤部)

友金 幹視(日本赤十字社 京都第二赤十字病院 薬剤部)

1. 「京都府における後発医薬品使用促進の現状と課題～薬局の立場から～」
中林 保(おれんじ薬局)
2. 「民間病院におけるジェネリック医薬品の使用促進」
三浦 誠(医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 薬剤部)
3. 「後発医薬品使用促進への当院の取組と問題点」
出島 健司(京都第二赤十字病院)
4. 「京都府における後発医薬品の安心使用の取組み」
横田 薫(京都府 健康福祉部 薬務課)
5. 総合討論

シンポジウム 5：薬価制度改革と後発医薬品

8月26日(日) 14:40~16:10 第2会場(躬行館 Q21 講義室)

オーガナイザー：武藤 正樹(国際医療福祉大学大学院)

座長：武藤 正樹(国際医療福祉大学大学院)

漆畑 稔(日本薬剤師会相談役)

1. 「ジェネリック医薬品の薬価制度が決まる背景と今後の課題」
田中 俊幸(東和薬品株式会社 渉外統括部)
2. 「薬価制度改革と後発医薬品」
義若 博人(第一三共エスファ株式会社 代表取締役社長)
3. 「医療用医薬品の流通改善について-医療用医薬品流通改善懇談会-」
中原 岳志(株式会社スズケン 病院統括部)
4. 「平成30年度薬価制度改革における後発医薬品」
中山 智紀(内閣府 食品安全委員会事務局 評価第1課)
5. 総合討論

シンポジウム 6：ジェネリック医薬品・バイオシミラー特許紛争の傾向と最新事情について

8月26日（日） 13:00～14:30 第3会場（躬行館 Q22 講義室）

オーガナイザー・座長：阿部 隆徳（阿部国際総合法律事務所）

1. 「ジェネリック医薬品・バイオシミラー特許紛争の傾向と最新事情について」
榊田 祥子（東京大学 先端科学技術研究センター）
2. 「ジェネリック医薬品・バイオシミラー特許紛争の傾向と最新事情について」
岩崎 直子（武田テバファーマ株式会社 知的財産部）
3. 総合討論

シンポジウム 7：バイオシミラー使用促進のための新たな取り組み

8月26日（日） 14:40～16:10 第3会場（躬行館 Q22 講義室）

オーガナイザー：細川 修平（日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会）

座長： 伊東 信久（前衆議院議員、前バイオシミラー使用促進議員連盟 事務局長）

1. 「バイオシミラー使用促進のための新たな取り組み」
伊東 信久（大阪大学国際医工情報センター、前衆議院議員）
2. 「新たな治療選択肢としてのバイオシミラー」
松野 博明（松野リウマチ整形外科）
3. 「我が国におけるバイオシミラーの状況と普及について」
田畑 裕明（衆議院議員）
4. 総合討論

ランチョンセミナー1 (共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社)

8月25日(土) 12:00~13:00 第1会場(躬行館 T31 講義室)

座長： 木村 健(兵庫医科大学病院 薬剤部)

「バイオシミラーの現状と今後の展望」

演者： 三輪 芳弘(大阪大学医学部附属病院 薬剤部)

イブニングセミナー (共催：あゆみ製薬株式会社)

8月25日(土) 16:40~17:40 第1会場(躬行館 T31 講義室)

座長： 但馬 重俊(NTT西日本大阪病院 薬剤部)

「大阪薬剤師が話すバイオ医薬品のボケとツッコミ - ちゃんとわかってまっか? 本質を! -」

演者： 萱野 勇一郎(大阪府済生会 中津病院 薬剤部)

モーニングセミナー：-信頼性が高い医薬品を早く届けるために-ジェネリック医薬品のレギュラトリーサイエンス：最近のトピックス (共催：ジェネリック製薬協会)

8月26日(日) 8:20~9:20 第4会場(躬行館 Q23 講義室)

座長： 高木 和則(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 ジェネリック医薬品等審査部)

立木 秀尚(東和薬品株式会社 事業開発部)

「今後、導入が検討されている ICH M9~BCS に基づく

ヒト生物学的同等性試験の省略とは?~」

演者： 栗林 亮佑(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 ジェネリック医薬品等審査部)

「ガイドラインの改定；生物学的同等性試験のレイアウトと統計評価」

演者： 緒方 宏泰(明治薬科大学)

ランチョンセミナー2 (共催：第一三共エスファ株式会社)

8月26日(日) 11:00~12:10 第2会場(躬行館 Q21 講義室)

座長： 並木 徳之(静岡県立大学大学院 薬学研究院・実践薬学分野)

「今求められるフォーミュラリーの意義とは」

演者： 佐々木 忠徳(昭和大学統括薬剤部、薬学部病院薬剤学講座、昭和大学病院薬剤部)

ランチョンセミナー3 (共催：ニプロ株式会社)

8月26日(日) 11:00~12:10 第3会場(躬行館 Q22 講義室)

座長： 武藤 正樹(国際医療福祉大学大学院)

「地域フォーミュラリー実施の現状と今後-製薬企業、薬局、医薬品卸、政府の戦略-」

演者： 今井 博久(東京大学大学院 医学研究科 地域医薬システム学講座)

ランチョンセミナー4 (共催：日本化薬株式会社)

8月26日(日) 11:00~12:10 第4会場(躬行館 Q23 講義室)

座長： 三浦 誠(医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 薬剤部)

「抗体医薬品と低分子医薬品の違い ~個別化医療に向けて~」

演者： 米澤 淳(京都大学大学院 薬学研究科、京都大学医学部附属病院 薬剤部)

一般演題 1

8月26日(日) 9:30~11:00 第2会場(躬行館 Q21 講義室)

座長: 渡邊 大記(ダイガク薬局四条)

河野 修治(京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター)

1. 「ロキソプロフェン含有一般用医薬品の溶出挙動の比較」
西村 菜菜(神戸薬科大学 製剤学教室)
2. 「骨粗鬆症治療薬の生物学的同等性試験(BE試験)実施時に発生した急性期反応に対する被験者の安全性確保と対策」
山崎 太義(昭和大学 臨床薬理研究所)
3. 「レミフェンタニル静注用の先発品と後発品におけるコアリング発生要因」
河野 修治(京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター)
4. 「協会けんぽのジェネリック医薬品使用促進に向けた取組」
貫場 俊彦(全国健康保険協会)
5. 「後発医薬品使用促進のための日本調剤店舗での取り組み調査」
北村 慧(株式会社日本医薬総合研究所)
6. 「後発品使用促進のための処方箋データによる実処方解析及び薬剤師意識調査」
市川 博章(株式会社日本医薬総合研究所)

一般演題 2

8月26日(日) 9:30~11:00 第3会場(躬行館 Q22 講義室)

座長: 松元 加奈(同志社女子大学 薬学部)

中村 暢彦(京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター)

1. 「非免疫ラット脾細胞を用いるミニ抗体ライブラリーの構築と抗 PCSK9 抗体の創製」
加藤 芳徳(国際医療福祉大学 薬学部)
2. 「上田薬剤師会におけるジェネリック医薬品選定委員会の活動
～地域フォーミュラリ構築に向けて～」
八柳 秀夫(上田薬剤師会)
3. 「ジェネリック医薬品導入にあたり薬剤師として思ったこと」
塩谷 理世(医療法人社団仁明会 秋山脳神経外科病院 薬剤部)
4. 「後発医薬品から先発医薬品への変更希望理由の調査」
濱田 雄平(千葉大学医学部附属病院 薬剤部)
5. 「医療機関におけるバイオシミラーの使用状況に関する調査結果」
國正 淳一(神戸薬科大学)